

5月12日は「民生委員・児童委員の日」



頼れる!

地域の相談役!

一人で悩んでいませんか?

民生委員・児童委員

▲東京都民生委員・児童委員のキャラクター「ミンジー」

民生委員・児童委員ってご存知ですか? 地域の方々の福祉に関わる「困った」を聞き、一緒に考え、行政や関係機関につなぐ頼れる相談役です。その悩み、一人で抱え込まないで、まずは気軽に相談してみませんか?

— 問い合わせは、保健福祉部管理課地域福祉係へ。

民生委員・児童委員とは?

「民生委員法」および「児童福祉法」に定められ、厚生労働大臣から委嘱された東京都の特別職(非常勤)の公務員で、無報酬のボランティアとして活動しています。

全ての民生委員は児童委員を兼ねていて、「民生委員・児童委員」と呼びます。杉並区には、約400名の民生委員・児童委員がいます。また、主任児童委員は児童委員の中から指名を受け、主に子ども、子育てに関する支援活動を専門に行います。子ども家庭支援センターや学校等と連携し、課題を抱えた子育て家庭を支援します。



▲高齢者のお宅訪問

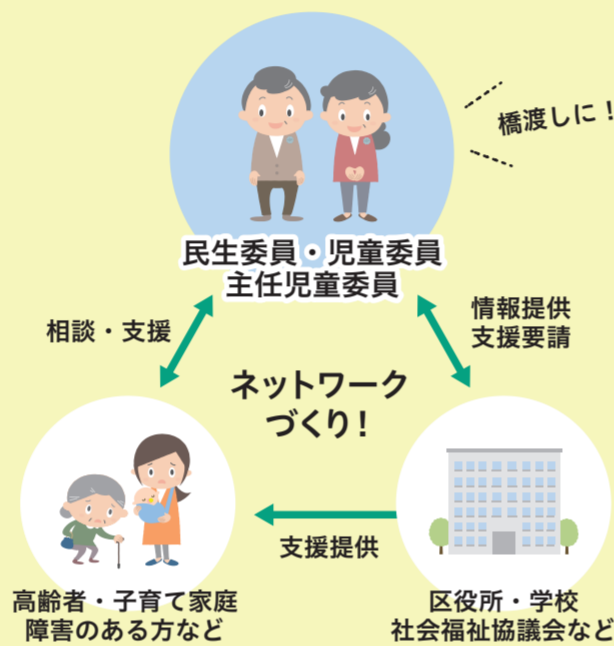


▲誰でも気軽に交流できるサロン活動



▲児童館での赤ちゃん計測

〈民生委員・児童委員の活動イメージ〉



民生委員・児童委員、主任児童委員の活動について伺いました!

Q1. 民生委員・児童委員の活動を始めたきっかけを教えてください

三田: きっかけは母の介護です。仕事をしながら介護していたのですがやはり大変で、還暦のときに退職して介護に専念することになりました。でも一対一だと本当に自分の時間がなくなるんです。そこで、母の友人を家に呼んでにぎやかに過ごすようにしました。それが民生委員・児童委員の方の耳に届き、「やってみない?」と。最初は断ったのですが、母に「地域の方にお世話になっているんだからやりなさい」と厳しく言われて。しょうがないと(笑)。

金杉: 子どもが小中学生の時にPTA会長をしていて、そのことを聞き及んでか、前任の民生委員・児童委員の方から「3年後の話なんだけど」と切り出されまして。親の介護が終わったばかりなのでちょっと…と断ったつもりだったんです。でも先方は受けてくれたと思込んで(笑)。

島田: 父がボランティアで日本語教室をやっていたこともあり、以前からボランティアが身近にあったのであまり敷居は高くありませんでした。子どもが小学生の頃、特別支援クラスの子どもたちを預かるというボランティアグループに参加したことから人の輪が広がり、「やってみませんか」とお声掛けいただいて今に至るところです。



Q2. やりがいや喜びを感じるのはどんなときでしょうか?

島田: 関わった子どもたちの成長をずっと見られるというのはとても楽しみです。学校や地域のイベントに積極的に参加し、地域との関わりが深くなっていくことでさらにやりがいを感じています。建て替えられた校舎も私が先に訪問して自分の子どもに「こんなだよ」と伝えたりして、家庭での会話も増えましたね。

金杉: 最初は人見知りで警戒していた方が、いろいろとお話する中でうれしそうな安心したような表情になります。そういう表情を見たときはお伺いしてよかったなと。そういう小さなことが積み重なってやりがいになるのかなと思います。

三田: サラリーマン時代は深夜に帰ってきて早期出勤という日々で地域とのつながりがほとんどなかったんです。それが民生委員・児童委員をやるようになってお年寄りはもちろん子どもたちからも声を掛けられるようになりました。コミュニケーションが広がったことが一番大きいですね。

Q3. 心に残っている一言やエピソードがあれば教えてください

島田: 小さいときに主任児童委員として関わった子どもたちって、大きくなってからもあいさつしてくれるんですよ。反抗期なのによくあいさつしてくれたなとか、あのときは大変だったけど大人になったなと感じて心がホッと温まります。

三田: 東日本大震災のとき、支援物資を集めるボランティアがあったんです



金杉緑さん
高円寺中央地区民生委員・児童委員協議会会長



三田利春さん
杉並区民生委員・児童委員協議会会長 / 宮前地区民生委員・児童委員協議会会長



島田法子さん
主任児童委員部会会長 / 宮前地区主任児童委員

けど、駐車場の整理をしていたら老婦人がタクシーでやってきて名前も告げずに大量の毛布を寄附してくれました。その方が私に「一日中立っているのですか」と聞くので「そうです」と言ったら、「大変ご苦労さまで」と深々と頭を下げられたんですね。それまでは1期3年で辞めようと思っていたのですが、その姿を見てもう少しやってもいいかなと思いました。続ける動機付けになりましたね。

金杉: 年配の女性がいらしたんですが、その方が音信不通になっている息子さんの消息をどうしても知りたいとおっしゃったんですね。どうにかして調べて探し当て、元気であることを伝えたら本当に喜んでくれて。ずっと気に掛かっていたことを少しでも取り除くお手伝いができて、私もとてもうれしく感じました。



くに親戚がいるからいいわ」という方たちとも何らかの形でつながれるといいなと。今はまだ見えていない人たちにも、もっと手を差し伸べていきたいです。

三田: 人って「なにかお手伝いしましょうか?」は言っても「助けてください」とはなかなか言いづらいですね。上から視線にならず、誰にでも手を大きく広げて話しかけやすいおじいさんになることで、相談しやすい環境をつくってほしいなと思っています。

「安心おたっしや訪問」とは

区内在住の75歳以上で、介護保険などの公的サービスを受けていない方のお宅を、地域包括支援センターの職員や民生委員・児童委員、区職員が訪問する事業です。高齢者の孤立を防ぎ、地域の中で日常的に相談できる関係をつくることにも、潜在的なニーズを把握して適切な支援へとつなげることを目的としています。

「地域のたすけあいネットワーク」とは

災害時に高齢や障害などで自力で避難が困難な方を、地域の方々の協力のもと支援する制度です。支援を希望する区民の申請に基づき、区が「登録者台帳」を作成し、警察署、消防署、震災救援所運営連絡会などと共有することで、災害発生時の安否確認等に活用します。民生委員・児童委員は登録者を訪問して、「個別避難支援プラン」を作成するとともに「救急情報キット」をお渡しします。

Q4. 杉並区独自の取り組みや区との連携はどのようになっていますか?

三田: 民生委員・児童委員には行政の協力機関という位置付けもあるので、相談内容によって行政の各担当部署につなぐお手伝いをしています。また高齢者を見守る「安心おたっしや訪問」や、いざというときの地域ネットワークを作る「地域のたすけあいネットワーク」という取り組みなどで、手を携えて活動しています。

島田: 子ども家庭支援センターなどから「虐待ではないかという通報があったので、見守りしてもらえないか」という依頼を何度か受けました。あとは問題を抱えた子どもや保護者のケアを依頼されたり。私たちにできるのはささいなことかもしれませんが、行政が動きにくい時間帯を主にフォローして連携しています。

Q5. 活動の課題やこれからの目標を教えてください

島田: 現役世代も気楽に参加できるようになるともっと意見交換も活発になると思うので、例えば定例会の時間を夜間や休日にするというのも一つの方法だと思います。風通しの良い環境づくりをすることで「やってみよう」という人が一人でも増えるといいですね。

金杉: 「地域のたすけあいネットワーク」はまずご本人が登録することから始まります。しかし、登録できない方や「遠



民生委員・児童委員パネル展

5月12日の「民生委員・児童委員の日」に合わせて、民生委員・児童委員活動PRパネル展示を行い、日頃の民生委員・児童委員の活動について紹介します。

📅 5月17日(月)午前10時～午後3時 📍 区役所1階ロビー 📍 各地区の民生委員・児童委員の活動を紹介します

Check! こんなお悩み ぜひ私たちにご相談ください!

- 高齢になってこれからは不安
- 病气・けがで働けなくなった。どうしよう…
- 親の介護、誰に相談すればいいんだろう?
- 子育ての悩み、誰かに聞いてほしいんだけど…
- 子どもがいじめられているみたい。どうしたらいいの?



▲杉並区民生委員・児童委員地区協議会会長の皆さん

委員には守秘義務があり、相談内容等の秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

※ご相談のある方は事務局(保健福祉部管理課地域福祉係)へお問い合わせください。